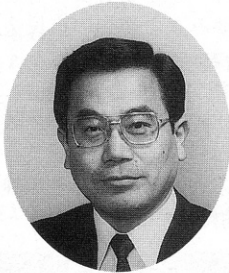


Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松本 啓 編集責任者 柴谷 政司 印刷所 東京印刷(株)

忘年例会ハンマープライス



【 市 政 の 課 題 】

米子市議会議員

齊木 正一 (第18期卒)

昨年12月の西部青年中央会の忘年例会にOB会員として出席し、そこで原稿寄稿の権利を頂きました。私も市政に参画させて頂いて3期目の折り返しの年に当たる良い機会でもありますので市政報告をいたします。

1. アジアと環日本海の時代

21世紀を間近に控えた今日、東西冷戦構造の終焉とともに国際社会は大きく変革し、とりわけ将来の発展の可能性を秘めたアジア地域に世界の目が向けられており、我が国も日本海新時代に入り、その対応が迫られています。

国内においては長引く景気の低迷で、足踏み状態が続いており、その中において行財政の大改革、東京一極集中の是正、地方の自立と地方分権の推進、日本海国土軸の形成、西日本中央連携軸の推進など、国土の均衡ある発展を実現するための取組が活発化してきています。

また、少子化、高齢化の急速な進行、環境保全に対する関心の高まりなど社会情勢は大きく動いています。

このような国内外の新しい時代潮流の中で、米子市を中心とした中海圏域は、環日本海交流の西の拠点として重要な役割を持っています。特に米子市は、本年は市制70周年の節目の年に当たり、各種記念事業や行事を通して活性化を図り、また同時に山陰夢みなど博覧会が開催されますので、その成功に向けての万全なる取り組みも重要であります。

2. 行政の簡素、効率化

中海圏域の中核都市である本市は、昨年第6次米子市総合計画を策定し、21世紀時代を見据え、将来都市像を実現するため、10年後を見定めた施策の大綱と計画・目標を定めています。

今後ますます多様化、複雑化する市民要望に応え、市民の福祉向上を実現するためには、柔軟な行政運営と地域の特性を生かしたきめ細かな施策が重要であります。

地方財源が十分確保されない厳しい行財政環境の中で、施策の計画実施に当たっては、昨年策定された新たな行政改革大綱に沿った行政システムの簡素、効率化を図り、限られた財源の重点配分と経費支出の効率化に徹して、行財政運営に努めることが強く求められています。

3. 主な課題

- ①「鳥取県中海圏域地方拠点都市地域」の基本計画を鳥根県の地方拠点都市地域と連携を図り、早朝に実現すること。
- ②環日本海時代に備えた新しい国土軸や西日本中央連携軸の構築を促進する。国際化に対応した基盤づくりと経済、文化、スポーツ交流等、国際交流を図り相互理解に努める。
- ③地方分権を推進し、市町村合併を働きかけること。
- ④中海の水質浄化対策を中海圏域の市町村が連携、協力して努力する。特に公共下水道、農業集落排水事業を強力に促進する。
- ⑤崎津工業団地の住宅用地やレジャー施設用地、FAZ関連企業等への有効利用を積極的に図る。
- ⑥農業は食糧の安定供給の役割と国土保全や、良好な自然環境の維持などに、重要な役割を果たしている担い手農家の育成と、特産物の振興や生産基盤の整備に努める。
- ⑦流通業務団地を初めとする工場適地の造成と、産・学・官共同体による新技術開発で、地場産業の振興と優秀技術先端型産業などの企業誘致により、若者の定着化を図る。
- ⑧米子駅南北の一体化を図り、駅南口の新設と駅南地区の開発に取り組み、米子コンベンションセンター完成に伴う交通渋滞解消のための交通体系の整備など、米子駅周辺の近代化を推進する必要があります。

その他、福祉・教育問題などまだまだ多くの課題がありますが、紙面の都合で割愛させていただきますが、これらの諸施策に今後とも積極的に取り組んで行く所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本年6月議会より、本会議の様態をテレビ中継する予定ですので、一段と議会が身近なものになるのではないかと期待しています。

それでは、会員の皆様のみまますのご隆昌とご多幸を祈念して報告とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。